

# スポーツ振興計画 具体的施策

## 進捗状況確認・評価シート集

### 基本目標 2

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標2

基本目標	2	スポーツを通じた元気と活力あふれるまちをつくる	
基本方針	(1)	既存施設の有効活用・改修	
基本方針詳細	(1) - 1	既存施設の有効活用	
		既存のスポーツ施設について、施設の効率的活用、利便性の向上などによる有効活用を図ります。	
具体的施策	①	スポーツ施設の利用増進	
具体的内容		現在は平日などを中心として施設の利用されない期間があるため、主に夏休みなど長期期間中における県外の大学生、スポーツクラブなどによる施設の利用増進を図ります。	
具体的展開		①市内スポーツ施設の案内パンフレットによる情報提供(再掲)【1-(1)-⑤で再掲】 ②(一社)鯖江市体育協会との連携による県内外の大学生、スポーツクラブなどへのPR	
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	市スポーツ課	市体育協会
	24年度	①一覧パンフレットは作成していない。市HP等で情報提供している。 ②具体的な取組は行っていない。	ホームページ、パンフレットによる施設情報発信 平日昼間の総合型地域スポーツクラブによるスポーツ教室の開催 夏休み期間の県外大学生による体育館の利用、また県外スイミングスクールによる市民プールでのトレーニング教室
	25年度	①一覧パンフレットは作成していない。市HP等で情報提供している。 ②具体的な取組は行っていない。	ホームページ、パンフレットによる施設情報発信 平日昼間の総合型地域スポーツクラブによるスポーツ教室の開催 夏休み期間の県外大学生による体育館の利用、また県外スイミングスクールによる市民プールでのトレーニング教室
	26年度	①一覧パンフレットは作成していない。市HP等で情報提供している。 ②具体的な取組は行っていない。	ホームページ、パンフレットによる施設情報発信 平日昼間の総合型地域スポーツクラブによるスポーツ教室の開催 夏休み期間の県外大学生による体育館の利用、また県外スイミングスクールによる市民プールでのトレーニング教室
	27年度	①一覧パンフレットは作成していない。市HP等で情報提供している。 ②具体的な取組は行っていない。	ホームページ、パンフレットによる施設情報発信 平日昼間の総合型地域スポーツクラブによるスポーツ教室の開催 夏休み期間の県外大学生による体育館の利用、また県外スイミングスクールによる市民プールでのトレーニング教室
	28年度	①一覧パンフレットは作成していない。市HP等で情報提供している。 ②具体的な取組は行っていない。	ホームページ、パンフレットによる施設情報発信 平日昼間の総合型地域スポーツクラブによるスポーツ教室の開催 夏休み期間の県外大学生による体育館の利用、また県外スイミングスクールによる市民プールでのトレーニング教室
これまでの進捗状況のまとめ		各年度の活動実績に記載のとおり。	総合型地域スポーツクラブの日中のスポーツ教室の開催の充実等で、一日を通して施設利用されており、総合体育館、スポーツ交流館の2施設の利用者数は、平成23年度102,369人、平成27年度135,400人と近年で3割以上の伸び率である。近年の健康志向化から、スポーツ交流館のアスレチックジムの利用者も増加傾向にある。また総合体育館、スポーツ交流館は夏休み期間中、県外大学生による施設利用がみられる。
今後の課題		大学スポーツ活動やスポーツクラブ活動によるスポーツ施設有効利用を進めるには、当該施設が他市町村に比べて専用性や個別競技対応性、利便性などで優越している必要がある。本市の既存スポーツ施設において、これらの点を満たしている施設は見当たらず、誘致を進めるためには施設改修が前提となる。	鯖江市体育協会と総合型地域スポーツクラブの活動場所が、総合体育館、スポーツ交流館は競合しており、互いの連携、協働が求められている。 県外大学生の施設利用にあたっては、市内の宿泊施設と連携した取り組みが求められており、市の合宿助成制度と合わせたPRが必要
新たな具体的展開			

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標2

中間評価（効果・有効性等）	進捗状況 の評価		今後の 方向性の 確認		推進委員 会の提言	
---------------	-------------	--	-------------------	--	--------------	--

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標2

基本目標	2	スポーツを通じた元気と活力あふれるまちをつくる				
基本方針	(1)	既存施設の有効活用・改修				
基本方針詳細	(1) - 1	既存施設の有効活用				
		既存のスポーツ施設について、施設の効率的活用、利便性の向上などによる有効活用を図ります。				
具体的施策	②	開放学校、公民館併設体育館の利便性向上				
具体的内容		現在は一部の公益性を持たない団体による利用も見られるため、新規の団体やスポーツに親しみたい人も気軽に利用できるように、施設の共同利用の促進を図るとともに、利用方法や手続きの見直しについても検討します。				
具体的展開		①開放学校、公民館併設体育館の各種スポーツ団体への開放など、共同利用の促進（新規）⇒それぞれ所管も異なり、開放学校は、各種クラブ・団体が、併設体育館は文化講座として定期利用しているが、双方向で利用できるようにする。 ②開放学校、公民館併設体育館における登録団体や利用手続きの見直し（新規）⇒所管を一本化し、利用手続きを見直しする。 ③施設予約サービス「ふくe-ねっと」の充実（再掲）【1-(1)-⑤、2-(1)-③、2-(1)-⑤で再掲】 ④未利用時間帯における施設の有効活用⇒昼間の空き時間帯の有効利用 ⑤利用可能日・時間帯などの見直し（新規）⇒併設体育館の火曜の利用可能				
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	市スポーツ課・生涯学習課				
	24年度	具体的取組なし				
	25年度	具体的取組なし				
	26年度	具体的取組なし				
	27年度	具体的取組なし				
	28年度	具体的取組なし				
これまでの進捗状況のまとめ		具体的進展なし				
今後の課題		現状の問題点と実現可能性の調査・検討を行うことから始める必要がある。				
新たな具体的展開						
中間評価（効果・有効性等）	進捗状況の評価		今後の方向性の確認		推進委員会の提言	



スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標2

基本目標	2	スポーツを通じた元気と活力あふれるまちをつくる	
基本方針	(1)	既存施設の有効活用・改修	
基本方針詳細	(1) - 1	既存施設の有効活用	
		既存のスポーツ施設について、施設の効率的活用、利便性の向上などによる有効活用を図ります。	
具体的施策	③	指定管理者制度によるスポーツ施設の適正な運営・管理	
具体的内容		市民が安全に安心してスポーツ施設を利用できるように、指定管理者制度を活用して、適正な運営・管理に取り組みます。現在は、総合体育館など14施設が対象となっていますが、必要に応じて対象施設の見直しを図ります。	
具体的展開		①指定管理者制度に基づく市内スポーツ施設の保守点検、維持補修【2-(1)-④で再掲】 ②施設予約サービス「ふくe-ねっと」の充実(再掲)【1-(1)-⑤、2-(1)-②、2-(1)-⑤で再掲】	
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	市スポーツ課	市体育協会
	24年度	①指定管理料(12スポーツ施設:65,300千円、立待体育館:7,496千円、尾花キャンプ場:600千円)で適正な運営・管理を行った。 ②市HPのスポーツ施設の施設情報として、施設予約サービス「ふくe-ねっと」へのリンクを貼り、利用希望者の便宜に供している。	①指定管理者体育鯖江市体育協会の加盟団体の協力を得て、きめ細かな施設管理の実施。 御幸公園:ソフトボール協会 西公園:ソフトボール団体 丸山公園:サッカー協会 南公園:野球連盟 西山公園:鯖江ボーイズ
	25年度	①指定管理料(12スポーツ施設:65,300千円、立待体育館:7,496千円、尾花キャンプ場:600千円)で適正な運営・管理を行った。 ②市HPのスポーツ施設の施設情報として、施設予約サービス「ふくe-ねっと」へのリンクを貼り、利用希望者の便宜に供している。	①指定管理者体育鯖江市体育協会の加盟団体の協力を得て、きめ細かな施設管理の実施。 御幸公園:ソフトボール協会 西公園:ソフトボール団体 丸山公園:サッカー協会 南公園:野球連盟 西山公園:鯖江ボーイズ
	26年度	①指定管理料(12スポーツ施設:68,000千円、立待体育館:7,560千円、尾花キャンプ場:600千円)で適正な運営・管理を行った。 ②市HPのスポーツ施設の施設情報として、施設予約サービス「ふくe-ねっと」へのリンクを貼り、利用希望者の便宜に供している。	①指定管理者体育鯖江市体育協会の加盟団体の協力を得て、きめ細かな施設管理の実施。 御幸公園:ソフトボール協会 西公園:ソフトボール団体 丸山公園:サッカー協会 南公園:野球連盟 西山公園:鯖江ボーイズ
	27年度	①指定管理料(12スポーツ施設:68,000千円、立待体育館:7,560千円、尾花キャンプ場:600千円)で適正な運営・管理を行った。 ②市HPのスポーツ施設の施設情報として、施設予約サービス「ふくe-ねっと」へのリンクを貼り、利用希望者の便宜に供している。	①指定管理者体育鯖江市体育協会の加盟団体の協力を得て、きめ細かな施設管理の実施。 御幸公園:ソフトボール協会 西公園:ソフトボール団体 丸山公園:サッカー協会 南公園:野球連盟 西山公園:鯖江ボーイズ
	28年度	①指定管理料(12スポーツ施設:68,000千円、立待体育館:7,560千円、尾花キャンプ場:600千円)で適正な運営・管理を行っている。 ②市HPのスポーツ施設の施設情報として、施設予約サービス「ふくe-ねっと」へのリンクを貼り、利用希望者の便宜に供している。	①指定管理者体育鯖江市体育協会の加盟団体の協力を得て、きめ細かな施設管理の実施。 御幸公園:ソフトボール協会 西公園:ソフトボール団体 丸山公園:サッカー協会 南公園:野球連盟 西山公園:鯖江ボーイズ
これまでの進捗状況のまとめ		年度ごとの活動実績等に記載のとおり。	体育協会が管理するスポーツ施設のうち、一部は、体育協会の加盟団体の協力を得て施設管理を実施しており、さらに塗装など軽微な補修は職員が直営で実施するなど、きめ細かな施設管理に努めている。
今後の課題		施設使用料等(利用料金、実費等)と管理運営費との収支差額を指定管理料としているが、減免団体制度の影響により収入増が大きく期待できないことから、施設の老朽化による維持管理費用の増加に十分に対応できない面がある。	スポーツ施設の環境整備等は利用者の協力が必要で、施設ごとに協力者を募ることも検討が必要
新たな具体的展開		市弓道場、中山公園グラウンドなどの直営施設については、効率的活用、利便性の向上の観点から、指定管理制度導入の可能性を検討する。	

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標2

中間評価（効果・有効性等）	進捗状況 の評価		今後の 方向性の 確認		推進委員 会の提言	
---------------	-------------	--	-------------------	--	--------------	--

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標2

基本目標	2	スポーツを通じた元気と活力あふれるまちをつくる		
基本方針	(1)	既存施設の有効活用・改修		
基本方針詳細	(1) - 2	既存施設の充実		
		既存スポーツ施設の安全・安心と利便性の確保に努めるために、老朽化した施設の改修などを進めます。		
具体的施策	④	既存施設の改修、バリアフリー化の推進		
具体的内容		老朽化した施設や改修が必要な施設については、施設整備計画、および施設長寿命化計画に基づいて、計画的に維持補修、設備の更新などを行います。また、誰もが利用しやすい施設とするため、公共のスポーツ施設のバリアフリー化を推進します。		
具体的展開		①指定管理者制度に基づく市内スポーツ施設の保守点検、維持補修（再掲）【2-(1)-③で再掲】 ②体育館など、既存の公共スポーツ施設の計画的な改修（再掲）【1-(2)-④で再掲】 ③公共スポーツ施設のバリアフリー化の促進（身障者用トイレ、身障者専用駐車場、スロープや手すりの設置 など）【2-(2)-⑥で再掲】		
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	市スポーツ課	市生涯学習課	市体育協会
	24年度	①指定管理料(12 スポーツ施設：65,300千円、立待体育館：7,496千円、尾花キャンプ場：600千円)で適正な運営・管理を行った。 ②具体的施策 1-(2)-④に同じ ③特に取組なし		指定管理者制度に基づき、定期点検を通じてきめ細かに小規模な補修工事を実施して安全確保に努める。
	25年度	①指定管理料(12 スポーツ施設：65,300千円、立待体育館：7,496千円、尾花キャンプ場：600千円)で適正な運営・管理を行った。 ②具体的施策 1-(2)-④に同じ ③特に取組なし		指定管理者制度に基づき、定期点検を通じてきめ細かに小規模な補修工事を実施して安全確保に努める。
	26年度	①指定管理料(12 スポーツ施設：68,000千円、立待体育館：7,560千円、尾花キャンプ場：600千円)で適正な運営・管理を行った。 ②具体的施策 1-(2)-④に同じ ③特に取組なし	神明健康スポーツセンター身障者用通路補修	指定管理者制度に基づき、定期点検を通じてきめ細かに小規模な補修工事を実施して安全確保に努める。
	27年度	①指定管理料(12 スポーツ施設：68,000千円、立待体育館：7,560千円、尾花キャンプ場：600千円)で適正な運営・管理を行った。 ②具体的施策 1-(2)-④に同じ ③特に取組なし		指定管理者制度に基づき、定期点検を通じてきめ細かに小規模な補修工事を実施して安全確保に努める。
	28年度	①指定管理料(12 スポーツ施設：68,000千円、立待体育館：7,560千円、尾花キャンプ場：600千円)で適正な運営・管理を行っている。 ②具体的施策 1-(2)-④に同じ ③特に取組なし	神明健康スポーツセンター駐車場白線引きなおし(身障者用シンボルマーク含む)	指定管理者制度に基づき、定期点検を通じてきめ細かに小規模な補修工事を実施して安全確保に努める。
これまでの進捗状況のまとめ		年度ごとの活動実績・活動状況に記載のとおり。	公民館併設体育館などについて、維持補修を行った。 神明健康スポーツセンターにおいてバリアフリー設備改修を実施。	指定管理者制度に基づき、小規模(20万円以下)な補修工事の実施、また体育協会職員(直営)による塗装、芝刈りなどの環境整備の実施。 スポーツ交流館のトイレのウォシュレット化、総合体育館の改

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標2

						修工事による多目的トイレの設置
今後の課題	<p>大変厳しい財政状況が今後も続く中で、施設そのものの改築といった大規模工事による更新は見込めない。各スポーツ施設の利用状況や損耗度を判断材料に、優先順位をつけながら、引き続き計画的な維持補修、設備の更新を行っていく必要がある。</p> <p>また、平成30年福井しあわせ元気大会（第18回全国障害者スポーツ大会）のオープン競技として、車いすテニスが市内施設で開催されるので、身障者用トイレの増設など競技者や関係者の利便向上を図るための整備を行う必要がある。</p>					<p>老朽化による改修箇所が増加が予想される。改修中は、施設利用の制限必要となる。</p> <p>スポーツ施設は築後の経過年数から老朽化もみられ、計画的な改修が望まれる。</p>
新たな具体的展開	今後の課題に同じ					平成28年の総合体育館耐震工事
中間評価（効果・有効性等）	進捗状況の評価		今後の方向性の確認		推進委員会の提言	

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標2

基本目標	2	スポーツを通じた元気と活力あふれるまちをつくる				
基本方針	(1)	既存施設の有効活用・改修				
基本方針詳細	(1)-2	既存施設の充実				
		既存スポーツ施設の安全・安心と利便性の確保に努めるために、老朽化した施設の改修などを進めます。				
具体的施策	⑤	野外活動施設の充実				
具体的内容		グラウンドや公園、キャンプ場などの野外活動施設についても、計画的に設備の更新、維持管理などを行い、利用者の利便性向上を図ります。				
具体的展開		①公園施設の整備（遊具、園路、植栽 など） ②屋外スポーツ施設の機能向上（グラウンド、テニスコートなど）（再掲）【1-(2)-④で再掲】 ③施設予約サービス「ふくe-ねっと」の充実（再掲）【1-(1)-⑤、2-(1)-②、2-(1)-③で再掲】				
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	市スポーツ課			市体育協会	
	24年度	①直営施設および指定管理者制度導入施設のそれぞれに適宜、整備、維持管理を行った。 ②具体的施策 1-(2)-④に同じ ③具体的施策 1-(1)-⑤に同じ			指定管理者制度に基づき、定期点検を通じてきめ細かに小規模な補修工事を実施して安全確保に努める。	
	25年度	①直営施設および指定管理者制度導入施設のそれぞれに適宜、整備、維持管理を行った。 ②具体的施策 1-(2)-④に同じ ③具体的施策 1-(1)-⑤に同じ			指定管理者制度に基づき、定期点検を通じてきめ細かに小規模な補修工事を実施して安全確保に努める。	
	26年度	①直営施設および指定管理者制度導入施設のそれぞれに適宜、整備、維持管理を行った。 ②具体的施策 1-(2)-④に同じ ③具体的施策 1-(1)-⑤に同じ			指定管理者制度に基づき、定期点検を通じてきめ細かに小規模な補修工事を実施して安全確保に努める。	
	27年度	①直営施設および指定管理者制度導入施設のそれぞれに適宜、整備、維持管理を行った。 ②具体的施策 1-(2)-④に同じ ③具体的施策 1-(1)-⑤に同じ			指定管理者制度に基づき、定期点検を通じてきめ細かに小規模な補修工事を実施して安全確保に努める。	
	28年度	①直営施設および指定管理者制度導入施設のそれぞれに適宜、整備、維持管理を行った。 ②具体的施策 1-(2)-④に同じ ③具体的施策 1-(1)-⑤に同じ			指定管理者制度に基づき、定期点検を通じてきめ細かに小規模な補修工事を実施して安全確保に努める。	
これまでの進捗状況のまとめ		年度ごとの活動実績・活動状況に記載のとおり。			指定管理者制度に基づき、小規模（20万円以下）な補修工事の実施、また体育協会職員（直営）による塗装、芝刈りなどによる環境整備。	
今後の課題		大変厳しい財政状況が今後も続く中で、施設そのものの改築といった大規模工事による更新は見込めない。各スポーツ施設の利用状況や損耗度などを判断材料に、優先順位をつけながら、引き続き計画的な維持補修、設備の更新を行っていく必要がある。			スポーツ施設の築後の経過年数から老朽化もみら、計画的な改修が望まれる。	
新たな具体的展開		今後の課題に同じ				
中間評価（効果・有効性等）	進捗状況の評価		今後の方向性の確認		推進委員会の提言	



スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標2

基本目標	2	スポーツを通じた元気と活力あふれるまちをつくる			
基本方針	(2)	高齢者・障がい者スポーツの充実			
基本方針詳細	(2)-1	高齢者スポーツの充実			
		高齢者が、健康で生きがいを持って生活できるように、それぞれの体力や運動能力に応じてスポーツを楽しめる環境づくりを関係所管との連携のもとに進めます。			
具体的施策	①	高齢者向けのスポーツメニューの充実			
具体的内容		高齢者の健康・体力づくり、生きがいづくりのため、(一社)鯖江市体育協会や総合型地域スポーツクラブなどの関係機関との連携を図り、高齢者向けのスポーツメニューの充実を図ります。			
具体的展開		①健康づくり、生きがいづくりのための高齢者向け教室の開催(再掲)⇒各スポーツクラブの健康教室、高齢者生きがい教室(ヨガ太極拳)【1-(1)-③で再掲】			
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	市体育協会	さばえスポーツクラブ	東陽スポーツクラブ	鯖江北コミュニティースポーツクラブ
	24年度	体育協会の加盟団体にニュースポーツ(ソフトバレー、ビーチボール、マレットゴルフ、グラウンドゴルフ、スティックリンク)の団体を積極的に受け入れ、高齢者のスポーツ参加の機会の充実を図る。	ヨガ・整体・カイロ・ストレッチ等の健康教室を随時開講している。サークルでは吹矢・合気道・ショートテニスなどがいきいきと活動している。	健康教室5教室 (エアロビクス、骨盤カイロ、健康簡単ヨガ、お腹凹むウォーキング、エアロビ&ヨガ)	スロートレーニング教室参加者43人
	25年度	体育協会の加盟団体にニュースポーツ(ソフトバレー、ビーチボール、マレットゴルフ、グラウンドゴルフ、スティックリンク)の団体を積極的に受け入れ、高齢者のスポーツ参加の機会の充実を図る。	ヨガ・整体・カイロ・ストレッチ等の健康教室を随時開講している。サークルでは吹矢・合気道・ショートテニスなどがいきいきと活動している。	健康教室5教室 (エアロビクス、骨盤カイロ、健康簡単ヨガ、お腹凹むウォーキング、エアロビ&ヨガ)	スロートレーニング教室参加者46人
	26年度	体育協会の加盟団体にニュースポーツ(ソフトバレー、ビーチボール、マレットゴルフ、グラウンドゴルフ、スティックリンク)の団体を積極的に受け入れ、高齢者のスポーツ参加の機会の充実を図る。	ヨガ・整体・カイロ・ストレッチ等の健康教室を随時開講している。サークルでは吹矢・合気道・ショートテニスなどがいきいきと活動している。加えてスポーツ課の市民役事業「リスタートフレッシュアップ事業」を受託。健康教室を出前講座として各地区の公民館で開催した他、ノルディックウォークを普及した。	健康教室5教室 (エアロビクス、歪みすっきり☆骨盤体操、ソフトヨガ、お腹凹むウォーキング、リフレッシュ体操)	スロートレーニング教室参加者39人
	27年度	体育協会の加盟団体にニュースポーツ(ソフトバレー、ビーチボール、マレットゴルフ、グラウンドゴルフ、スティックリンク)の団体を積極的に受け入れ、高齢者のスポーツ参加の機会の充実を図る。	ヨガ・整体・カイロ・ストレッチ等の健康教室を随時開講している。サークルでは吹矢・合気道・ショートテニスなどがいきいきと活動している。加えてスポーツ課の市民役事業「リスタートフレッシュアップ事業」を受託。健康教室を出前講座として各地区の公民館で開催した他、ノルディックウォークを普及した。	健康教室5教室 (やさしいヨガ、エアロビクス、歪みすっきり☆骨盤体操、ソフトヨガ、お腹凹むウォーキング)	スロートレーニング教室参加者35人
28年度	体育協会の加盟団体にニュースポーツ(ソフトバレー、ビーチボール、マレットゴルフ、グラウンドゴルフ、スティックリンク)の団体を積極的に受け入れ、高齢者のスポーツ参加の機会の充実を図る。	ヨガ・整体・カイロ・ストレッチ等の健康教室を随時開講している。サークルでは吹矢・ショートテニスなどがいきいきと活動している。加えてスポーツ課の市民役事業「リスタートフレッシュアップ事業」を受託。健康教室を出前講座として各地区の公民館で開催した他、ノルディックウォークを普及した。また、健康課の国保保健指導事業にて「アクティブエイジング」教室を開催、受講者満員で大好評を得てい	健康教室5教室 (やさしいヨガ、エアロビクス、歪みすっきり☆骨盤体操、ソフトヨガ、お腹凹むウォーキング)		

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標2

これまでの進捗状況のまとめ	体育協会の加盟団体として、高齢者が活動できるニュースポーツ等の団体を積極的に受け入れるとともに、スポーツ推進委員のスポーツ教室の開催を支援する。			高齢化社会に向け、クラブは地域貢献としての努力を続けている。高齢者に向けて充実したプログラムを実施している。	会員数は横ばい。	スロートレーニング教室は高齢者向けの講座として30人から40人の会員で定着したように思う。筋力維持は高齢者にとっても重要課題であり、合わせて講師の指導力とで、会員の支持を受けている。				
今後の課題				スポーツ・健康教室に参加したくても自力で通えない高齢者を今後どうしたら取り込めるかを考えていきたい。	高齢者の健康・体力づくり、生きがいづくりのため、(一社)鯖江市体育協会や総合型地域スポーツクラブなどの関係機関との連携を図り、高齢者向けのスポーツメニューの充実を図る必要がある。	会員は圧倒的に女性が多く、男性の参加者を増大させることが課題だ。高齢の男性は囲碁やマレットゴルフ等への参加者が目立つが、女性に比較して内向的な点は否めない。男性の健康教室募集の広報についても注力したい				
新たな具体的展開				お迎えバス等をクラブが所有できると良いのだが・・・	今後の課題と同じ					
中間評価 (効果・有効性等)	進捗状況の評価		今後の方向性の確認		推進委員会の提言					

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標2

基本目標	2	スポーツを通じた元気と活力あふれるまちをつくる				
基本方針	(2)	高齢者・障がい者スポーツの充実				
基本方針詳細	(2) - 1	高齢者スポーツの充実				
		高齢者が、健康で生きがいを持って生活できるように、それぞれの体力や運動能力に応じてスポーツを楽しめる環境づくりを関係所管との連携のもとに進めます。				
具体的施策	②	高齢者向けのスポーツイベントの開催				
具体的内容		高齢者に適したスポーツを通じて、仲間づくりや健康で活力ある長寿社会づくりを推進するため、高齢者を対象としたスポーツに関するイベントを開催します。				
具体的展開		①地区体育協会などによる高齢者スポーツ大会の開催⇒各地区老人クラブ運動会、地区体育大会での高齢者向け種目 ②ふくい健康長寿祭スポーツ・文化交流大会への参加促進⇒県大会年1回				
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	市長寿福祉課			市体育協会	
	24年度	①各地区老人クラブ運動会 10地区で開催 ②ふくい健康長寿祭スポーツ・文化交流大会 大野市、勝山市で開催 197名参加			体育協会が主催する、市長杯などに、ソフトバレーなど誰もが参加しやすいスポーツを取り入れ、高齢者向けのスポーツ大会の充実を図る。	
	25年度	①各地区老人クラブ運動会 10地区で開催 ②ふくい健康長寿祭スポーツ・文化交流大会 坂井市、あわら市で開催 177名参加			体育協会が主催する、市長杯などに、ソフトバレーなど誰もが参加しやすいスポーツを取り入れ、高齢者向けのスポーツ大会の充実を図る。	
	26年度	①各地区老人クラブ運動会 8地区で開催 ②ふくい健康長寿祭スポーツ・文化交流大会 福井市で開催 164名参加			体育協会が主催する、市長杯などに、ソフトバレーなど誰もが参加しやすいスポーツを取り入れ、高齢者向けのスポーツ大会の充実を図る。	
	27年度	①各地区老人クラブ運動会 9地区で開催 ②ふくい健康長寿祭スポーツ・文化交流大会 鯖江市で開催 259名参加			体育協会が主催する、市長杯などに、ソフトバレーなど誰もが参加しやすいスポーツを取り入れ、高齢者向けのスポーツ大会の充実を図る。	
	28年度	①各地区老人クラブ運動会 10地区で開催予定 ②ふくい健康長寿祭スポーツ・文化交流大会 小浜市、若狭町で開催 175名参加予定			体育協会が主催する、市長杯などに、ソフトバレーなど誰もが参加しやすいスポーツを取り入れ、高齢者向けのスポーツ大会の充実を図る。	
これまでの進捗状況のまとめ		各地区老人クラブによる運動会は、近年になって開催できない地区も出てきたが、概ね全地区で取り組んでいる。 年1回開催されるふくい健康長寿祭スポーツ・文化交流大会は、昨年度の開催地が鯖江市だったので、たくさん的高齢者が参加しスポーツを楽しめた			ニュースポーツ（ソフトバレー、マレットゴルフ、グランドゴルフ、ゲートボール等）の市長杯などの大会の開催を通じて高齢者のスポーツ参加の機会の充実を図る。	
今後の課題		各地区老人クラブによる運動会は、毎年開催している。しかし、老人クラブ自体がなくなったり、また、加入しているメンバーが高齢になっていく中での取組であり、運動会はさることながら、老人クラブ継続に向けて若手メンバーを増やしていくことが必要である。 健康長寿祭を楽しみに参加している高齢者の継続参加はもちろんのこと、新たに参加する高齢者を増やしていくことが必要である。			鯖江市民体育大会に、ニュースポーツのメニューを積極的に取り入れ、高齢者の参加の機会の充実を図る。	
新たな具体的展開		高齢者の方が気軽に楽しめる軽スポーツを紹介するイベントを開催する。				
中間評価（効果・有効性等）	進捗状況の評価		今後の方向性の確認		推進委員会の提言	



スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標2

基本目標	2	スポーツを通じた元気と活力あふれるまちをつくる	
基本方針	(2)	高齢者・障がい者スポーツの充実	
基本方針詳細	(2) - 1	高齢者スポーツの充実	
		高齢者が、健康で生きがいを持って生活できるように、それぞれの体力や運動能力に応じてスポーツを楽しめる環境づくりを関係所管との連携のもとに進めます。	
具体的施策	③	高齢者の健康の維持・増進	
具体的内容		健康寿命を延ばし、高齢者の健康の維持・増進を図るため、高齢者の健康づくりや介護予防に関する教室などを開催するとともに、地域で行われる高齢者の健康づくりへの取り組みに対する支援などを行います。	
具体的展開		①健康づくり、生きがいづくりのための高齢者向け教室の開催（再掲） ②介護予防いきいき講座におけるレクリエーション（体操・ゲームなど）メニューの充実⇒10会場で月2回程度 ③健康寿命ふれあいサロンの運営への支援⇒町内公民館で月1回介護予防運動	
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	市長寿福祉課	鯖江北コミュニティスポーツクラブ
	24年度	①いきがい講座（健康づくり、生きがいづくりのための高齢者向け教室） 太極拳（市民ホール）年間44回開催 延べ796人参加 ヨガ（文化センター）年間45回開催 延べ629人参加 ②介護予防いきいき講座 年間240回開催 延べ4,225人参加 ③健康寿命ふれあいサロン 年間1,123回開催 延べ17,770人参加	健康教室(スロートレーニング講座)43人
	25年度	①いきがい講座（健康づくり、生きがいづくりのための高齢者向け教室） 太極拳（市民ホール）年間42回開催 延べ660人参加 ヨガ（文化センター）年間46回開催 延べ705人参加 ②介護予防いきいき講座 年間240回開催 延べ4,396人参加 ③健康寿命ふれあいサロン 年間1,379回開催 延べ19,132人参加	健康教室(スロートレーニング講座)46人
	26年度	①いきがい講座（健康づくり、生きがいづくりのための高齢者向け教室） 太極拳（市民ホール）年間48回開催 延べ961人参加 ヨガ（文化センター）年間45回開催 延べ758人参加 ②介護予防いきいき講座 年間240回開催 延べ4,529人参加 ③健康寿命ふれあいサロン 年間1,451回開催 延べ20,202人参加	健康教室(スロートレーニング講座)39人
	27年度	①いきがい講座（健康づくり、生きがいづくりのための高齢者向け教室） 太極拳（市民ホール）年間45回開催 延べ866人参加 ヨガ（文化センターからユーカーサバえに変更）年間48回開催 延べ848人参加 ②介護予防いきいき講座 年間240回開催 延べ4,785人参加 ③健康寿命ふれあいサロン 年間1,468回開催 延べ20,261人参加	健康教室(スロートレーニング講座)35人
	28年度	①いきがい講座（健康づくり、生きがいづくりのための高齢者向け教室） 太極拳（市民ホール）、ヨガ（ユーカーサバえ）で開講中であり、後期から健康教室を開講予定。 ②介護予防いきいき講座 年間240回開催予定し、毎回介護予防体操やレクリエーションなど体を動かす活動をメニュー化している。 ③健康寿命ふれあいサロン 運動指導員や介護予防サポーターの派遣を通して介護予防体操に取り組む活動を支援している。	健康教室(スロートレーニング講座) 人
これまでの進捗状況のまとめ		①いきがい講座は、市民主役事業として平成24年度～26年度はコンフォートさばえ、H27、	健康教室(スロートレーニング講座) の運営

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標2

	<p>28年度は(有)ユー・エフ・オーアカデミーに委託しており、高齢者の健康づくり、いきがいくりのための講座を行っている。</p> <p>②介護予防いきいき講座は、H18より市内全地区公民館にて法人委託により開催し、理学療法士や保健師等専門職から介護予防体操等様々な介護予防メニューを提供し、継続的な介護予防活動の場として定着している。また県内大学の協力により、体力測定を実施し個別指導も受けることができている。</p> <p>③健康寿命ふれあいサロンは、身近な町内公民館での高齢者の集いの場として、サロンリーダーを中心に運営している。サロン設置も徐々にすすみ、H28ではサロン数106(町内設置率 73.3%)である。サロンリーダー研修として、具体的な介護予防体操等のノウハウを指導し、サロン活動に活かせるようにしている。</p>					
<p>今後の課題</p>	<p>①民間のノウハウを活かしていただき、「いきがい講座」に対する高齢者の関心を高めるとともに、受講生の拡大を図る。</p> <p>②男性の参加者が少なく、参加者の固定化、参加数の地区差がある。今後いかに新規参加者を取り込んでいくかが課題である。</p> <p>③サロンリーダーに介護予防体操のノウハウを伝授しても、すべてのサロンの習慣的な活動として定着しにくい。</p>					<p>高齢者の健康維持として健康教室参加の重要性を周知徹底する。</p>
<p>新たな具体的展開</p>	<p>①いきがい講座の太極拳(市民ホール)、ヨガ(ユーカーさばえ)の継続はもちろんのこと、新しく後期から健康教室を開講予定である。</p> <p>②③H28年度は、鯖江オリジナル健康体操実践講座を開催し、介護予防運動サポーターを養成している。今後、サポーターは、介護予防いきいき講座や健康寿命ふれあいサロン、住民主体の運動グループ支援に携わり、介護予防体操の普及活動に取り組む予定である。</p>					
<p>中間評価(効果・有効性等)</p>	<p>進捗状況の評価</p>		<p>今後の方向性の確認</p>		<p>推進委員会の提言</p>	

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標2

基本目標	2	スポーツを通じた元気と活力あふれるまちをつくる				
基本方針	(2)	高齢者・障がい者スポーツの充実				
基本方針詳細	(2) - 2	障がい者スポーツの充実				
		スポーツを通じて豊かな生活を実現することは、全ての人に保障されるべき権利であるため、障がいのある人が、障がいの種類や程度に応じてスポーツを楽しめる環境づくりを進めます。また、スポーツを通じたノーマライゼーションを推進します。				
具体的施策	④	障がい者向けのスポーツの振興				
具体的内容		障がいのある人の健康・体力づくり、生きがいのため、(一社)鯖江市体育協会や鯖江市社会福祉協議会などの関係機関との連携を図り、障がいのある人向けのスポーツメニューの充実を図るとともに、障がいのある人のスポーツ活動、仲間づくりに対する支援を行います。				
具体的展開		①障がいの程度や適性に応じてスポーツを楽しめる教室の開催(再掲)(新規)【1-(1)-③、2-(2)-⑥で再掲】 ②障がいのある人のスポーツ活動に対する支援(ボランティアの育成、情報提供 など)⇒福祉ボランティアは社協で活動 ③福井県障害者スポーツ指導者協議会との連携によるスポーツ指導者の養成・確保(新規) ④障がいのある人と障がいのない人のスポーツを通じた交流機会の創出(新規)				
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	市社会福祉課			市体育協会	
	24年度	ボランティアの育成(社協)、及び各種イベント等の情報提供を行った。			総合体育館会議室に設置されているサウンドテーブルテニスによる障がい者の方の活動	
	25年度	ボランティアの育成(社協)、及び各種イベント等の情報提供を行った。			総合体育館会議室に設置されているサウンドテーブルテニスによる障がい者の方の活動	
	26年度	ボランティアの育成(社協)、及び各種イベント等の情報提供を行った。			総合体育館会議室に設置されているサウンドテーブルテニスによる障がい者の方の活動	
	27年度	ボランティアの育成(社協)、及び各種イベント等の情報提供を行った。			総合体育館会議室に設置されているサウンドテーブルテニスによる障がい者の方の活動	
	28年度	ボランティアの育成(社協)、及び各種イベント等の情報提供を行った。				
これまでの進捗状況のまとめ		ボランティアの育成(社協)、及び各種イベント等の情報提供を行っているが、なかなか成果があらわれていない。			福井しあわせ元気大会の障害スポーツの卓球競技が鯖江市(サンドーム福井)で開催されるにあたり、サウンドテーブルテニスを障がい者の方が定期的に利用。	
今後の課題		ボランティアの育成(社協)、及び各種イベント等の情報提供を行っているが、障害者のスポーツにはまだまだ関心が薄く発展途上である。				
新たな具体的展開		障害者の方がスポーツに取り組もうという意識をもつていただくことがなかなか難しいので、ことある毎にイベント等への参加をよびかける。				
中間評価(効果・有効性等)	進捗状況の評価		今後の方向性の確認		推進委員会の提言	



スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標2

基本目標	2	スポーツを通じた元気と活力あふれるまちをつくる				
基本方針	(2)	高齢者・障がい者スポーツの充実				
基本方針詳細	(2) - 2	障がい者スポーツの充実				
		スポーツを通じて豊かな生活を実現することは、全ての人に保障されるべき権利であるため、障がいのある人が、障がいの種類や程度に応じてスポーツを楽しめる環境づくりを進めます。また、スポーツを通じたノーマライゼーションを推進します。				
具体的施策	⑤	障がい者スポーツイベントの開催				
具体的内容		障がいのある人同士の交流を促進し、健康・体力づくり、生きがいに寄与するため、障がいのある人が障がいの種類や程度に応じて楽しく参加できるスポーツイベントを開催します。				
具体的展開		①鯖江市障がい者スポーツ大会の開催⇒年1回 ②福井県障害者スポーツ大会への参加促進⇒年1回				
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	市社会福祉課				
	24年度	①鯖江市障がい者スポーツ大会の開催⇒10/6(土)開催 ②福井県障害者スポーツ大会への参加促進⇒6/16(土)参加促進				
	25年度	①鯖江市障がい者スポーツ大会の開催⇒9/22(日)開催 ②福井県障害者スポーツ大会への参加促進⇒6/8(土)参加促進				
	26年度	①鯖江市障がい者スポーツ大会の開催⇒9/28(日)開催 ②福井県障害者スポーツ大会への参加促進⇒5/31(土)、6/7(土)参加促進				
	27年度	①鯖江市障がい者スポーツ大会の開催⇒10/18(日)開催 ②福井県障害者スポーツ大会への参加促進⇒6/6(土)参加促進				
	28年度	①鯖江市障がい者スポーツ大会の開催⇒10/16(日)開催予定 ②福井県障害者スポーツ大会への参加促進⇒5/29(日)6/5(日)参加促進				
これまでの進捗状況のまとめ		春に福井県の大会への参加を促し、秋に鯖江市のふれあいスポーツ大会の開催を継続している。				
今後の課題		春に福井県の大会への参加を促し、秋に鯖江市のふれあいスポーツ大会の開催を継続している。特に鯖江市の大会は運動会でありマンネリ化が課題となっている。				
新たな具体的展開		今後とも春に福井県の大会への参加を促し、秋に鯖江市のふれあいスポーツ大会の開催を継続していく。				
中間評価(効果・有効性等)	進捗状況の評価		今後の方向性の確認		推進委員会の提言	



スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標2

基本目標	2	スポーツを通じた元気と活力あふれるまちをつくる				
基本方針	(2)	高齢者・障がい者スポーツの充実				
基本方針詳細	(2) - 2	障がい者スポーツの充実				
		スポーツを通じて豊かな生活を実現することは、全ての人に保障されるべき権利であるため、障がいのある人が、障がいの種類や程度に応じてスポーツを楽しめる環境づくりを進めます。また、スポーツを通じたノーマライゼーションを推進します。				
具体的施策	⑥	障がいの有無を問わず誰もが参加しやすい環境づくり				
具体的内容		障がいのある人とのスポーツを通じた交流を促進するため、各種スポーツ団体が実施するスポーツ大会やイベントについては、障がいのある人も参加しやすいメニューづくりに努めます。また、公共スポーツ施設のバリアフリー化に努めます。				
具体的展開		①障がいの程度や適性に応じてスポーツを楽しめる教室の開催（再掲）（新規）【1-(1)-③、2-(2)-④で再掲】 ②障がいのある人も参加しやすいメニューへの見直し（スポーツ大会やイベント など）（新規） ③公共スポーツ施設のバリアフリー化の促進（身障者用トイレ、身障者専用駐車場、スロープや手すりの設置 など）（再掲）【2-(1)-④で再掲】				
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	市スポーツ課		市社会福祉課		市体育協会
	24年度	③特に取組なし		鯖江市ふれあいスポーツのつどいにパン喰い競争を採用し、全員が参加できたことで大いに盛り上がった。		
	25年度	③特に取組なし		鯖江市ふれあいスポーツのつどいに平成24年度と同様パン喰い競争を採用した。		
	26年度	③特に取組なし		鯖江市ふれあいスポーツのつどいに平成24年度と同様パン喰い競争を採用した。		
	27年度	③特に取組なし		鯖江市ふれあいスポーツのつどいに平成24年度と同様パン喰い競争を採用した。		スポーツ交流館のトイレのウォッシュレット化
	28年度	③特に取組なし		鯖江市ふれあいスポーツのつどいに平成24年度と同様パン喰い競争を採用する予定、またメニューも考える。		総合体育館の改修に伴う、多目的トイレの設置
これまでの進捗状況のまとめ				鯖江市ふれあいスポーツのつどいに平成24年度と同様パン喰い競争を採用した以降は競技内容に変化をつけていない。		国体の会場となる総合体育館、スポーツ交流館のトイレを改修し、障がい者に対するバリアフリー化を図る。
今後の課題		③平成30年福井しあわせ元気大会（第18回全国障害者スポーツ大会）のオープン競技として、車いすテニスが市内施設で開催されるので、身障者用トイレの増設など競技者や関係者の利便向上を図るための整備を行う必要がある。		鯖江市ふれあいスポーツのつどいの参加者が高齢化してきていることで新たな競技等を採用することが難しくなっている。		
新たな具体的展開		今後の課題に同じ		福井県の障害者スポーツ大会に対しても新たなメニューの追加を要望していく。また、鯖江市ふれあいスポーツのつどいは参加者の掘り起こしを行い内容に思考を凝らしていく。		
中間評価（効果・有効性等）	進捗状況の評価		今後の方向性の確認		推進委員会の提言	



スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標2

基本目標	2	スポーツを通じた元気と活力あふれるまちをつくる				
基本方針	(3)	スポーツを通じた地域づくり				
基本方針詳細	(3)-1	スポーツによる交流				
		市民のスポーツに対する興味・関心を高め、スポーツ活動による地域コミュニティの再生・活性化、新たなスポーツ文化の発信を図るため、スポーツを通じた様々な交流を促進します。				
具体的施策	①	全国的なスポーツイベントの開催				
具体的内容		全国的なスポーツイベントは、競技水準の向上だけでなく、青少年にとっても夢や希望を広げ、国際性を培う機会としても有効であるため、福井県体育協会などの関係機関とも連携を図りながら、開催に向けた取り組みを進めます。				
具体的展開		①関係機関との連携による全国的なスポーツイベントの開催【3-(3)-①、3-(3)-③で再掲】 ②市民一人ひとりが参加できる支援体制の構築（新規）				
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	市スポーツ課			市体育協会	
	24年度	①全国高等学校総合体育大会（体操・新体操） ②具体的な取組は行っていない。				
	25年度	②具体的な取組は行っていない。				
	26年度	②具体的な取組は行っていない。				
	27年度	①全日本シニア体操競技選手権大会、全日本選抜選暦軟式野球大会 ②具体的な取組は行っていない。			・大相撲鯖江場所の開催	
	28年度	①全日本学生体操競技選手権大会（福井しあわせ元気国体競技別プレ大会）、全国中学校体育大会（体操） ②具体的な取組は行っていない。				
これまでの進捗状況のまとめ		年度ごとの活動実績・活動状況に記載のとおり				
今後の課題		平成30年福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会において、様々な競技が実施され、また、競技に関する関連情報や関連イベントが用意・提供される中で、特に青少年を中心に、競技だけでなく、観戦、ボランティア、市民運動など多様なステージで関与してもらう働きかけが必要である。				
新たな具体的展開		今後の課題に同じ				
中間評価（効果・有効性等）	進捗状況の評価		今後の方向性の確認		推進委員会の提言	



スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標2

基本目標	2	スポーツを通じた元気と活力あふれるまちをつくる			
基本方針	(3)	スポーツを通じた地域づくり			
基本方針詳細	(3) - 1	スポーツによる交流			
		市民のスポーツに対する興味・関心を高め、スポーツ活動による地域コミュニティの再生・活性化、新たなスポーツ文化の発信を図るため、スポーツを通じた様々な交流を促進します。			
具体的施策	②	スポーツを通じた様々な交流の促進			
具体的内容		地域住民が、スポーツを通じて世代や地域の枠を超えた交流やスポーツ体験活動ができるように、福井県広域スポーツセンター、(一社)鯖江市体育協会、各種スポーツ団体などとの連携により、市内地域間の交流、他都市との交流を促進します。			
具体的展開		①全市的なスポーツレクリエーションやニュースポーツなどのイベントによる世代間交流、地域間交流の促進⇒市民スポーツの日、3クラブ連絡協議会によるイベント ②姉妹都市である村上市とのスポーツ交流会の開催			
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	市スポーツ課	市体育協会	さばえスポーツクラブ	東陽スポーツクラブ
	24年度	①市民スポーツの日において鯖江市スポーツ推進委員協議会がミニテニスのブースを運営	②10月27日～28日村上市から31名を迎え、少林寺拳法競技交流大会を開催	陸上教室&スポーツフェスタを開催。小中学生を対象にスポーツふれあいのイベントを行った。また、鯖江中学校の文化祭において、ニュースポーツの体験ブースを開催した。さらに、独身者を対象に「スポ婚」を開催、スポーツで親睦を深め、出会いのきっかけ作りの場を提供した。	①スポーツフェスタ開催(9月)、市民スポーツの日参加(10月)
	25年度	①市民スポーツの日において鯖江市スポーツ推進委員協議会がショートテニスのブースを運営	②10月12日～13日鯖江市より52名が参加し、柔道競技交流大会を開催	鯖江中学校の文化祭において、ニュースポーツの体験ブースを開催した。さらに、独身者・学生を対象に「スポ婚」「スポーツ合コン」を開催、スポーツで親睦を深め、出会いのきっかけ作りの場を提供した。	①市民スポーツの日参加(10月)
	26年度	①市民スポーツの日において鯖江市スポーツ推進委員協議会がショートテニスのブースを運営	②8月23日～24日村上市より46名を迎え、柔道競技交流大会を開催	陸上教室&スポーツフェスタを開催。小中学生を対象にスポーツふれあいのイベントを行った。また、鯖江中学校の文化祭において、ニュースポーツの体験ブースを開催した。さらに、独身者を対象に「スポ婚」を開催、スポーツで親睦を深め、出会いのきっかけ作りの場を提供した。	①スポーツフェスタ開催(8月)、市民スポーツの日参加(10月)
	27年度	①市民スポーツの日において鯖江市スポーツ推進委員協議会がカローリングおよびシャッフルボードのブースを運営	②10月10日～11日鯖江市より23名が参加し、ソフトボール競技交流大会を開催	市民スポーツの日において、トップアスリートとふれあい、遊べる企画を提案し、地域の子供達が大いにスポーツを楽しむことができた。	
	28年度		②9月3日～4日、村上市より21名を迎え、ソフトボール競技交流大会を開催	地域の独身者のために「スポ婚」を開催。スポーツを通じた出会いのきっかけ作りの場を提供する。	①市民スポーツの日参加予定(10月)
これまでの進捗状況のまとめ		各年度活動実績・活動状況に記載のとおり	・市民スポーツの日の市民スポーツふれあい事業は、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ推進委員など多くのスポーツ団体が連携して開催されている。	比較的小規模のイベントを行ってきた。しかし、地域のニーズに応えることは出来ていたと思う。	毎年、(一社)鯖江市体育協会主催”市民スポーツの日”に参加し、総合型スポーツクラブのPRを実施。

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標2

		・村上市とのスポーツ交流事業は、昭和56年度以来35年以上継続されている。					
今後の課題	①市民スポーツの日参加者数の確保。				クラブ単独での交流イベントは人・金・時が乏しく、開催が難しい。他の団体と協力して、地域のニーズに合ったイベントを行っていきたい。	地域住民が、スポーツを通じて世代や地域の枠を超えた交流やスポーツ体験活動ができるように、福井県広域スポーツセンター、(一社)鯖江市体育協会、各種スポーツ団体などと連携をとり、市内地域間の交流、他都市との交流を促進する必要がある。	
新たな具体的展開	①体協やスポーツ推進委員の広報紙を通して誰でもできるニュースポーツの認知度向上を図る。					今後の課題と同じ	
中間評価 (効果・有効性等)	進捗状況の評価		今後の方向性の確認		推進委員会の提言		

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標2

基本目標	2	スポーツを通じた元気と活力あふれるまちをつくる		
基本方針	(3)	スポーツを通じた地域づくり		
基本方針詳細	(3) - 2	地域スポーツの充実		
		各種スポーツ団体などと連携し、主な日常生活の場である地域におけるスポーツ活動の充実、スポーツ障害・事故に対する安全性の確保を図るための支援を行います。		
具体的施策	③	地域性を活かしたスポーツイベントの充実（再掲）		
具体的内容		地区レベルでのスポーツイベントについては、地区体育協会や総合型地域スポーツクラブなどが中心となって、地域の特色や地域住民の意見を取り入れた個性豊かなプログラムづくりに取り組めます。		
具体的展開		①各地区、各種目団体が企画するイベントの開催（再掲）⇒地区体育大会、町内対抗各種大会、種目協会が開催する種目別大会、スポーツフェスタ【1-(1)-②で再掲】		
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	市体育協会	さばえスポーツクラブ	鯖江北コミュニティースポーツクラブ
	24年度	・市長杯など各種スポーツ大会（体操、ソフトボール他）全27大会 ・地区体育大会 ・地区スポーツふれあいDAY	スポーツフェスタを連絡協議会で開催。	
	25年度	・市長杯など各種スポーツ大会（体操、ソフトボール他）全27大会 ・地区体育大会 ・地区スポーツふれあいDAY		
	26年度	・市長杯など各種スポーツ大会（体操、ソフトボール他）全27大会 ・地区体育大会 ・地区スポーツふれあいDAY		
	27年度	・市長杯など各種スポーツ大会（体操、ソフトボール他）全27大会 ・地区体育大会 ・地区スポーツふれあいDAY		スポーツフェスタの開催（鯖北のサークルチームが主体となって野球、バレー、バスケット、なぎなた、サッカー、少林寺拳法、）会員は勿論、地域の人も参加して、中央中の体育館、武道館、グラウンド、御幸グラウンドで行った。
	28年度	・市長杯など各種スポーツ大会（体操、ソフトボール他）全27大会 ・地区体育大会 ・地区スポーツふれあいDAY		
これまでの進捗状況のまとめ		・市長杯など各種スポーツ大会、地区体育大会、地区スポーツふれあいDAYなどのイベントが各競技団体、また地区公民館と協働して開催されている。	地区体育大会等のスポーツイベントにはクラブは関与しておりません。	28年3月に上記スポーツフェスタを開催した。初めての試みで、会員が中心であったが、地域の人々の参加も求め、約300人が参加した。
今後の課題			各地区体協・各種目協会との連携をもっと持っていきたいが、接点がなかなか見つからない。クラブのアイデア不足。	より多くの地域の人々の参加が得れること。
新たな具体的展開				29年3月にも10周年記念も兼ねてスポーツフェスタを開催する予定。地域の人との触れ合いの場として定着するような事業にしたい。

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標2

中間評価（効果・有効性等）	進捗状況 の評価		今後の 方向性の 確認		推進委員 会の提言	
---------------	-------------	--	-------------------	--	--------------	--

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標2

基本目標	2	スポーツを通じた元気と活力あふれるまちをつくる				
基本方針	(3)	スポーツを通じた地域づくり				
基本方針詳細	(3) - 2	地域スポーツの充実				
		各種スポーツ団体などと連携し、主な日常生活の場である地域におけるスポーツ活動の充実、スポーツ障害・事故に対する安全性の確保を図るための支援を行います。				
具体的施策	④	地域スポーツ団体への支援				
具体的内容		地域住民が安心して主体的に取り組むスポーツ活動を推進し、地域スポーツによるコミュニティの活性化を図るため、地域のスポーツ活動を担う各種団体への支援を行います。				
具体的展開		①総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団の活動に対する支援 ②学校体育施設の各種スポーツ団体への開放など、共同利用の促進（再掲）【1-(2)-⑥で再掲】 ③スポーツ安全保険への加入促進				
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	市スポーツ課				
	24年度	①総合型地域スポーツクラブ育成事業補助(@2,000千円×3スポーツクラブ)、スポーツ少年団活動費補助 600千円 ③スポーツ少年団や種目協会、団体等に対し、適宜、保険加入を呼び掛けた。				
	25年度	①総合型地域スポーツクラブ育成事業補助(@2,000千円×3スポーツクラブ)、スポーツ少年団補助（活動費600千円、応援事業2,226千円、スポーツイベント開催200千円） ③スポーツ少年団や種目協会、団体等に対し、適宜、保険加入を呼び掛けた。				
	26年度	①総合型地域スポーツクラブ育成事業補助(@1,800千円×2スポーツクラブ、2,000千円×1スポーツクラブ)、スポーツ少年団活動費補助 600千円 ③スポーツ少年団や種目協会、団体等に対し、適宜、保険加入を呼び掛けた。				
	27年度	①総合型地域スポーツクラブ育成事業補助(@1,800千円×2スポーツクラブ、2,000千円×1スポーツクラブ)、スポーツ少年団活動費補助 600千円 ③スポーツ少年団や種目協会、団体等に対し、適宜、保険加入を呼び掛けた。				
	28年度	①総合型地域スポーツクラブ育成事業補助(@1,800千円×2スポーツクラブ、2,000千円×1スポーツクラブ)、スポーツ少年団活動費補助 600千円 ③スポーツ少年団や種目協会、団体等に対し、適宜、保険加入を呼び掛けた。				
これまでの進捗状況のまとめ		年度ごとの活動実績・活動状況に記載のとおり				
今後の課題		豊かなスポーツ環境を整備するうえでは、総合型地域スポーツクラブの安定的・継続的な運営を一層促進することが求められるので、財務的支援の方法や行政とのパートナーシップの在り方について検討していく必要がある。				
新たな具体的展開		今後の課題に同じ				
中間評価（効果・有効性等）	進捗状況の評価		今後の方向性の確認		推進委員会の提言	



スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標2

基本目標	2	スポーツを通じた元気と活力あふれるまちをつくる				
基本方針	(3)	スポーツを通じた地域づくり				
基本方針詳細	(3) - 2	地域スポーツの充実				
		各種スポーツ団体などと連携し、主な日常生活の場である地域におけるスポーツ活動の充実、スポーツ障害・事故に対する安全性の確保を図るための支援を行います。				
具体的施策	⑤	職場におけるスポーツの奨励				
具体的内容		休憩時間などを活用した、健康づくり、気軽に体を動かす機会を提供するための取り組みを奨励します。				
具体的展開		①昼休みのウォーキングや休憩時間の体操の奨励（新規） ②職場におけるスポーツ・レクリエーション活動の奨励（新規） ③徒歩や自転車での通勤の奨励（新規）				
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	市スポーツ課				
	24年度	特に取り組んでいない。				
	25年度	特に取り組んでいない。				
	26年度	特に取り組んでいない。				
	27年度	特に取り組んでいない。				
	28年度	特に取り組んでいない。				
これまでの進捗状況のまとめ		特に取り組んでいない。				
今後の課題		主に、事業所や職場での福利厚生活動あるいは個人の趣味趣向に属する事項であり、地域スポーツの充実の視点から市が働きかけていくのは難しい面がある。				
新たな具体的展開		次期計画改定では、ウォーキング等を「ニーズに合ったスポーツの推進」という観点から奨励するという方向性に修正検討する。				
中間評価（効果・有効性等）	進捗状況の評価		今後の方向性の確認		推進委員会の提言	